

御嶽山噴火10年 シンポジウム

参加
無料

2024年
11月30日(土)開催 9:00開場

●現地参加は予約不要 ●オンライン配信も予定
(オンライン配信のみ申し込み必要)

開催会場:木曾文化公園文化ホール
(長野県木曾町日義 4898-37) 《駐車場あり》

〈開催趣旨・概要〉

63名もの死者・行方不明者がでた御嶽山の2014年の噴火をきっかけとして、この10年で2度も活火山法が改正され、火山防災協議会や火山本部の設置など様々な施策が全国でおこなわれています。御嶽山においても、ハード面、ソフト面両方の強化がおこなわれ、立ち入りが規制されていた山頂部にも再び登れるようになりました。

このように、日々火山災害への対策が進んでいますが、減災のためにはまだまだ努力を続ける必要があります。そこで、この10年間の日本の火山防災の進展状況や今後を考える会を、きっかけとなった御嶽山のお膝元である木曾地域で、日本火山学会と御嶽山火山防災協議会長野県幹事会の共催行事として開催します。

その他、噴火を理解するための実験の実演なども行います(現地開催のみ)。火山に興味のある児童・学生の参加もお待ちしております。その他、防災に興味のある方々のみならず、実験や理科教育、サイエンス・コミュニケーション、博物館やビジターセンターの運営・活動などに興味のある方もご興味を持てる内容となっておりますので、参加をお待ちしております。

●プログラム (9:40開始、16:00終了、敬称略)

第一部:御嶽山噴火後の火山防災の進展と今後 (9:40~12:00)

御嶽山噴火後10年間の日本と御嶽山の火山防災の進展を中心に防災関係者の方々からお話をいただきます。

基調講演:「噴火後の御嶽山における火山防災対策の概要」及川輝樹(産総研地質調査総合センター)

事例紹介:「富士山の火山防災(仮)」古屋海砂(山梨県防災局火山防災対策室)

パネルディスカッション「御嶽山噴火後の火山防災とこれから」

登壇者:木曾町町長 原 久二男、王滝村村長 越原 道廣、内閣府(防災担当)調査・企画担当、気象庁地震火山部、文部科学省火山本部

噴火実験(12:30~13:45)※親子で楽しめる実験です。(オンラインでは配信しません)

噴火実験の名手でもある、磐梯山噴火記念館 佐藤公(プラタモリ案内人)、北翔大学教授 横山 光(洞爺湖有珠火山マイスター)並びに御嶽山火山マイスターによる噴火実験を行います。

第二部:市民による噴火の伝承活動と火山教育 (14:00~16:00)

御嶽山噴火を契機として生まれた御嶽山火山マイスターなど、火山の伝承や防災教育を担う市民のみなさんの活動について、全国各地の取組事例を紹介します。

パネルディスカッション「市民による噴火の伝承活動と火山教育」

登壇者:杉本伸一(雲仙岳災害記念館館長、火山防災エキスパート)、横山 光(北翔大学教授)、佐藤 公(磐梯山噴火記念館館長)、御嶽山火山マイスター

詳しいプログラムやオンライン参加の申し込みは、HPをご覧ください。

<https://sites.google.com/view/kazansympo/home>



詳細・申し込み先HP



会場アクセス

主催:御嶽山噴火10年シンポジウム実行委員会(参加団体:NPO法人日本火山学会、御嶽山火山防災協議会長野県幹事会)
後援・協力:御嶽山火山マイスターネットワーク、御嶽山火山防災協議会